

令和3年度第2回尾張旭市地域づくり懇談会 会議要旨

1 開催日時

令和3年12月1日（水）午前10時から午前10時50分まで

2 開催場所

尾張旭市役所3階 講堂2

3 出席者

座長：高橋 眞知子（名古屋経営短期大学）

大川 正喜（尾張旭市商工会）、横山 史佳（尾張旭市観光協会）、

酒向 清治（瀬戸信用金庫）

4 欠席者

水野 恵介（あいち尾東農業協同組合）

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員（その他の出席者）

・事務局

企画課長 山下 昭彦、企画課長補佐 齋場 智充、企画課主査 水谷 緩美

・オブザーバー

産業課商工振興係長 永谷 尚子

7 議題

地域再生計画の策定について

8 会議の要旨

【主な質問】

・市内の事業所に周知しているのか。（構成員）

⇒ まだ周知していない。なお、市内に本社機能のある企業は、制度の対象外であるため、周知方法に難しさを感じている。（事務局）

・金融機関の視点で、「企業版ふるさと納税」は、企業にとって魅力的だと思うか。（構成員）

⇒ 事業を通して地域に貢献したいという企業であれば、興味を持つところはあると思う。尾張旭市出身の社長の市外企業等を対象に、制度のPRをするのも、一つの方法だと思う。（構成員）

・「企業版ふるさと納税」に対する企業の認知度を上げるため、商工会を通じて説明会を開催することは可能か。（構成員）

⇒ 市内に本社機能のある企業が、制度の対象外であることを考えると、対応が難しい。（構成員）

- ・制度内容をPRする場を、別途設定すると良いのではないか。（構成員）
⇒ 他市の例では、特定のプロジェクトの実現を目的として、寄附を呼び掛けているところがある。（事務局）
- ・具体的にどういった企業が寄附をしているのか。（構成員）
⇒ 愛知県内では、保険会社、金融機関及びドラッグストア等からの実績がある。（事務局）
- ・「寄附していただいた企業は、こうした形でPRします」ということも含めて、制度のPRができると良いのではないか。（構成員）
⇒ 寄附していただいた企業名をホームページ等で公表したり、銘板に掲載したりしている例があるので、寄附をいただいた際には、感謝を込めて企業名をPRすべきだと考えている。（事務局）
- ・商工会では、市外の企業と交流する機会はあるのか。（事務局）
⇒ そうした機会はない。市内に店舗のある市外の本社にターゲットを絞り、直接制度のPRをしても良いのではないか。（構成員）
- ・「人材派遣型企業版ふるさと納税」に関する動きはあるのか。（構成員）
⇒ 既に相談があったが、相手企業が想定していた内容とは異なっていた。市としても、民間企業から専門人材が派遣されることは、非常にありがたいことであるため、受入等の準備を進めていきたいと考えている。（事務局）
- ・観光協会で把握している事業で、寄附の対象になりそうなプロジェクト等はあるか。（構成員）
⇒ 観光協会が関係する事業者は、市内の業者が多いため、寄附の対象になるようなプロジェクト等はない。（構成員）
⇒ 他市の事例では「観光振興」を寄附対象のプロジェクトとしている場合がある。このため、具体的なプロジェクトを設定する際には、観光協会とも連携していきたい。（事務局）
- ・当該制度の運用に当たっては、様々な可能性があると思う。横のつながりを大切にしながら、いろいろと声をかけて進めていって欲しい。来年3月の国の認定までの間、制度のPR先の情報を集めておく等、すぐにでもスタートできるようにしてほしい。（構成員）

【指示・確認事項】

- ・来年度の懇談会の開催予定について説明（事務局）

【その他】

- ・瀬戸信用金庫のホームページのリニューアル内容について紹介（構成員）